

THE KOBECOCO

MARCH No.311

1987 3月刊神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可
昭和62年3月1日印刷 通巻311号 昭和62年3月1日発行
毎月1回1日発行



エレガンスとカジュアルが恋する季節。

MORE
CLASSICAL



● スーツ 麻100% ¥207,000

quattro stagioni

どんなに無機質な空間にいても、
あてやかさが匂いたつ女性がいる。
その姿は、
エレガントにカジュアルに、
心に大輪の花を咲かせている。
春になると、
よりいっそう輝きを増し、
女神のように、
優しさを添えていく……。



● ワンピース 麻100% ¥207,000

quattro stagioni

 **BENIYA**

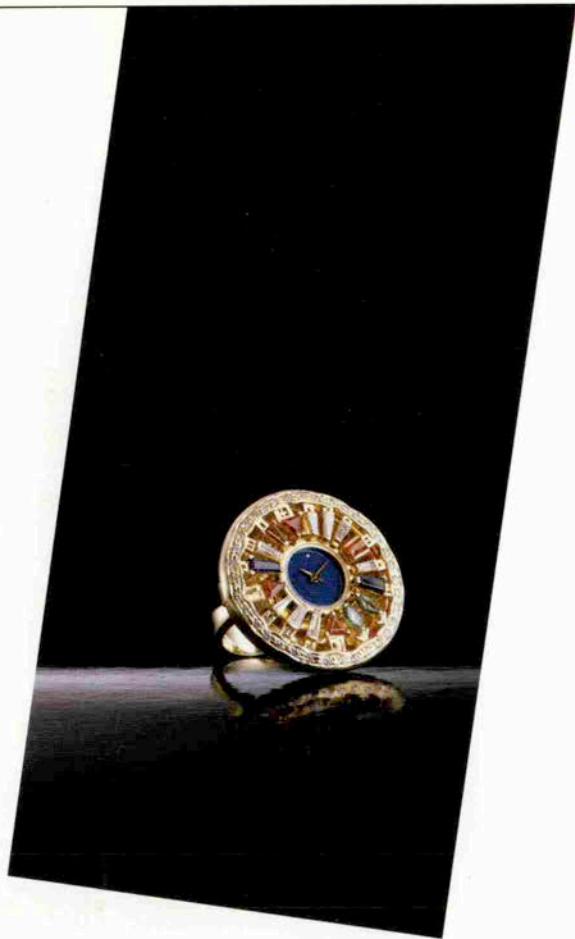
KOBE OSAKA TOKYO

〈商品のお問合せ〉

神戸 ● クワトロ・スタジオネ店 ☎(078)332-4858 ● エルベ店 ☎(078)332-2829 ● さんちか店 ☎(078)321-2678

大阪 ● 梅田店 ☎(06)374-0137 ● ナビオ店 ☎(06)316-1303 ● ミナミ店 ☎(06)231-6128

時を見つめながら、
時が過ぎてしまう。



 田崎真珠

ジュエリーウォッチ・リング／ダイヤモンド、ルビー他／K18／1,600,000円

ユー・デイ・メニユー・イン 特別演奏会 3月15日(日) 2時 ザ・シンフォニーホール (A) 6000円 (B) 5000円 (C) 4000円 (D) 3000円

主要プレイガイドチケット発売中



ブラウス ¥15,900 スカート ¥17,900 (イッシュメゾン)

兎玉靖枝、イッシュメゾンを着る。昨年三度目の個展を開き、その透明感のある画風が人気を呼んでいる。京都芸大、大学院を経て、現在同大学の講師を務める。イズム本社アクスルビル1Fプレスルームにて。

※写真のブラウスを抽選で3名様プレゼントいたします。
 葉書に住所・氏名・年齢・職業を記名の上、下記までご応募ください。'87年3月25日締切。
 〒651 神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F 月刊神戸っ子「イズム」プレゼント係



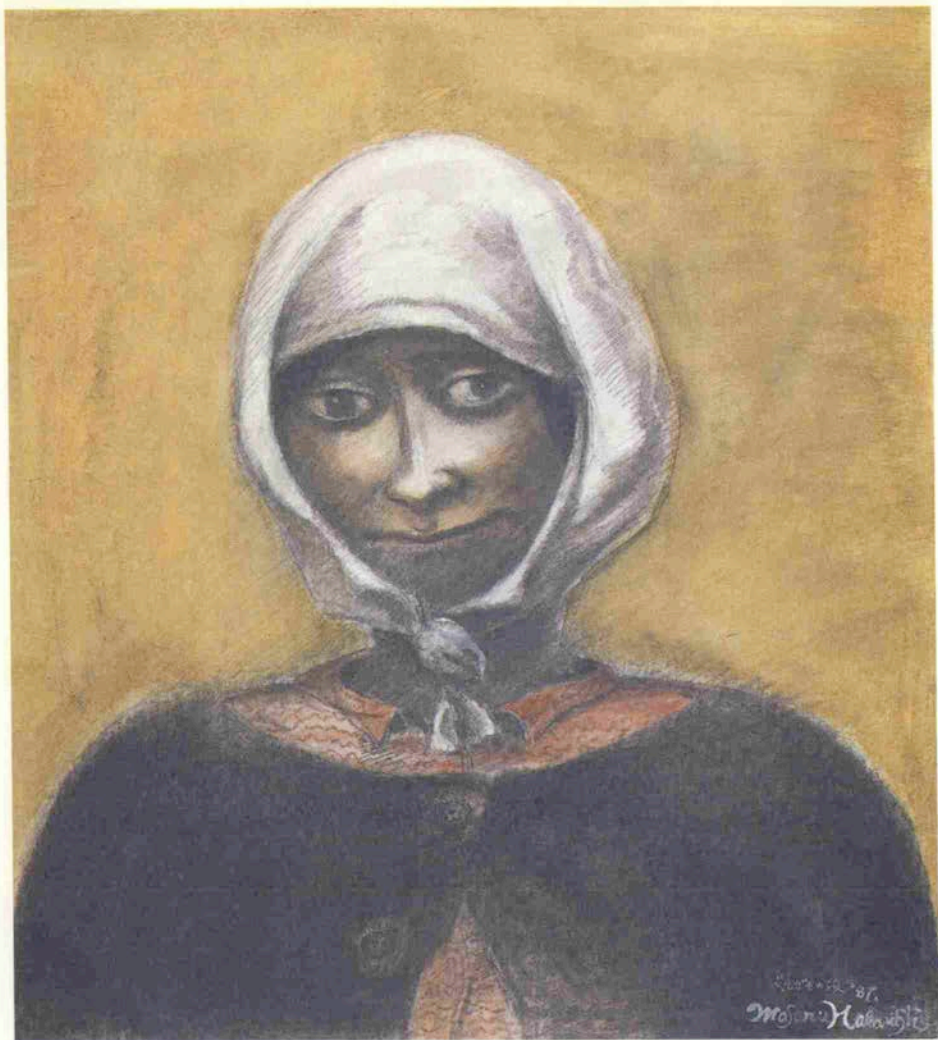
WAGON DAISSAN
ism CO.,LTD.
 株式会社イズム

Head office: 1-10 1-Chome, Nunobiki-cho, Chuo-ku, Kobe, 651 Japan TEL:078-222-3641
 Kobe convention room: 1-10 1-Chome, Nunobiki-cho, Chuo-ku Kobe, 651 TEL:078-222-3300

● Second Cover

顔シリーズ(3)トルコ(ベルガモ)
トルコには私達と同じの
顔とやさしさがあつた。

中西 勝 (二紀会)

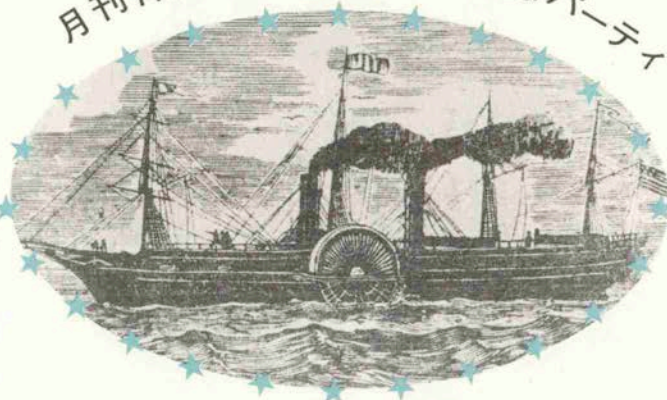


祝・神戸開港120年

月刊神戸っ子 26周年記念パーティー

ニューオリンズ発

—神戸着



I LIKE ♡
KOBE JAZZ!

'87世界の酒祭り

4月7日(火) 午後6:00~8:30

会場/サンボーホール2階

会費/一般10,000円 神戸っ子倶楽部会員9,000円

●ショータイム



Pf: 秋満義孝



ロイヤルフラッシュ
ジャズバンド



Vo: キャンディ浅田

大内正義ラフingジャズオーケストラ

●第16回ブルーメール賞表彰式



山西史子
(文学部門)



中西 覚
(音楽部門)



松原政祐
(美術部門)



楠本篤章
(舞台芸術部門)



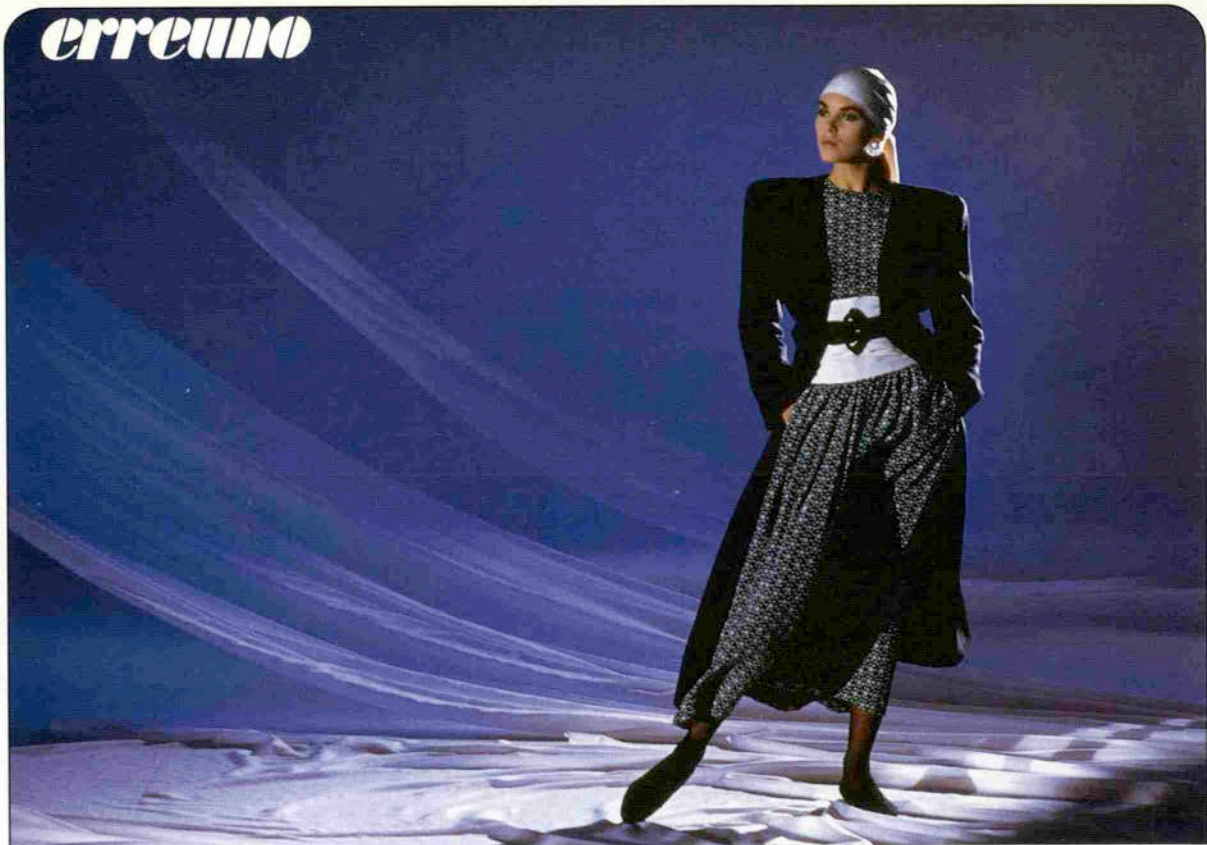
望月美佐
(ファッション部門)

●昭和61年度神戸酒徒番附表彰式

●チャリティ福引大会 ●サンバフィーバー(月刊神戸っ子
サンバチーム)

主催/月刊神戸っ子 神戸市中央区東町113-1大神ビル9F ☎078-331-2246 後援/神戸百店会

erreuno



*'87 Spring
Erreuno Collection*

Sanohe

ヌベールサノヘ<元町1番街>TEL 321-1710



春はフェミニストがお好き

Tajima
宝飾店 タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761代表



第16回

月刊神戸っ子
ブルーメール賞

ファッション部門

くらしの中に文字を 望月 美佐

〈書道家〉

黒いドレスを着たモデルが登場した。望月美佐さんは床に座して、二本の筆に金と銀の液体を含ませ、そのドレスに一気に筆を走らせた。

——これは昨年、東京と神戸で行われた望月美佐ファッションショー「文字を着る」のクライマックスだ。書道家としての美佐さんは、世界各国で「動の書」のリサイクルをはじめ、華やかな個展活動や後進の指導としての書道教室を開くなど、その多彩な活動は今更にご紹介するまでもない。

彼女のもう一つの顔はファッションデザイナー、オリジナル布地の着物やドレスはもちろん、陶器からインテリアに至るまで「暮らし」に「文字」をとり入れたユニークモードにも本領を発揮する。日本の書には横文字に劣らない造形感覚があり、「文字を着る」ことは、日本の心を着ることだと彼女は言う。日本の心を世界の人々に着てもらいたいと夢をふくらませて

いる。
〈兵庫区・鳥原水源地にて〉



第16回

月刊神戸っ子
ブルーメール賞

舞台芸術部門

神戸の笑いの仕掛人 楠本喬章

〈笑クリエイト社〉

16歳の時、芸能通の神戸の親戚に身を寄せたのが落語との出会い。芸能プロモーターを経て落ち着いた所は「落語」だった。「古い性分の人間でね。義理人情の残る落語に、感性が合ったんでしょ。昭和47年、兵庫の柳原で同志と二人、柳笑亭を開いたが50人も入れば満員という狭さに「このままではあかん！神戸の寄席の灯が消えてしまう」と、昭和53年元町風月堂ホールに、恋雅亭を開いた。「お洒落な元町で果して…」という不安はあった。が、気がつくくと100回。記念出版の「きろくのきろく」は、落語に登場する気のいい喜六に、裏方の自分をなぞらえたのだが、どうしてなかなかの無頼漢。最も心に残る噺家は六代目笑福亭松鶴。「事務所でぜんざい食べながら、話したもんです。」無頼漢同志、気も合ったのだろう。その六代目も、昨年9月にこの世を去った。「私は陰の人間。晴れがましい席へのお呼びがかかるなんて、忸怩たる思い」と言う彼の横で、六代目の写真が笑っていた。

〈元町風月堂ホール・恋雅亭にて（下段中央）〉



第16回

月刊神戸っ子
ブルーメール賞

文学部門

“自分史”を掘り下げる 山西史子

〈作家〉

「手紙文が上手になりたくて」という軽い気持ちから朝日カルチャーセンターへ通い始めたのが4年前。それが、気が付くと「自分史」と取り組んでいる。自分自身と母との葛藤。これが山西さんの作品テーマだ。

「子供の頃から母の意にそぐわない、気に入られない自分。母親に対するどうしようもない劣等感を抱き続けてきたんです」。傷つくことを恐れるながらも、自分と母との「恥」を衆目に曝して行く。「露悪趣味だと言われることもありす」。しかし「書く」という行為によって、改めて自己を客観視することが出来た。「書くことを始めてから生き方そのものが変わりました。醒めた眼で物事を見ることが出来るようになったんです」。今、精神的にはすごく幸せだ、と言う。兵庫県警勤務のご主人と高校三年の息子さんが、「何よりの理解者なんです」。典型的な主婦作家。むしろ今後、展開が期待される。昭和16年11月、大阪生まれ。須磨区在住。(於自宅)



第16回

月刊神戸っ子
ブルーメール賞

美術部門

生命への畏敬と親愛 松原政祐

〈洋画家〉

激しく躍動する色彩とフォルム。ある時は歡喜の叫びを、ある時は苦悩の呻きを、さまざま人間の声を発する松原さんの絵は、見る者にいやおうなく「生」というテーマを突きつける。

昭和26年生まれ、35才。生まれも育ちも神戸っ子。神港学園高校を卒業後、上京、武蔵野美術学園に入学。卒業後も東京に残りアルバイトをしながら絵の修業を。武蔵美を卒業した年に行動美術展に初入選、以後毎回入選、昨年同协会会员となった。

「今の世の中を見てると、いったいこれから人間がどういう方向へ行ってしまうのか不安になりますね」。「生命への畏敬と親愛」をテーマにした松原さんの作品は、そんな不幸な時代の中で、人間に人間であることの自覚を促そうとする。その一貫した制作姿勢が評価され、一昨年、昨年と連続して安井賞候補となった。

〈自宅アトリエにて〉



第16回

月刊神戸っ子
ブルーメール賞

音楽部門

日本の音を求めて 中西 覚

〈作曲家〉

受賞対象となった「原爆を詠める七つの歌」は終戦直後の厳しい状況の中で創作された「昭和萬葉集」に心揺さぶられて作曲した作品。

柏原高校時代に所属したブラスバンドがきっかけで音楽に触れ、大阪学芸大学（現大阪教育大学）音楽科に進む。小さい頃から英才教育を受けて育つ音楽家の多い中では珍しいタイプ。大学卒業後、自らの作風を求めて暗中模索していた頃に作曲家の小山清茂氏に会い、その強烈な個性とゆるぎない信念に多大な影響を受ける。「ああ、これやという感じで道が開けました。」それ以後は西洋の真似でない本物の日本の音を創り出すことに勢力を注いできた。その後、小山氏らと共に「たにしの会」を結成、リーダーとして神戸の作曲家の土壌づくりにも努めている。一昨年春からは神戸山手女子高等学校校長も務め、音楽教育の啓蒙活動にも余念がない。日本の心を表現したいと語る氏の熱い思いが創り出す今後の作品に期待したい。



Beautiful
eye

わたしとメガネ



新しい眼鏡は嬉しいもの

市野 弘之

(丹波焼延年窯)

家にいる限り、朝8時には仕事へ入られる市野さん。眼鏡をかけた始めたのと、陶器作りのスタートがほぼ同じ頃で40数年のキャリア。眼鏡はかけていて落ち着けるものが一番とか。土の中から生まれてきたような作陶人生。これからも陶壁など、新しい試みに挑戦していきたいと意欲的でいらっしゃいました。

服部メガネ

神戸・大丸前

☎(078)331-1123



ある集い

■
社団法人

神戸青年会議所

(’87年度正副理事長・常任理事)

開港120年の今、未来へ翔く

ズラリッと勢揃いをした男が16人。この面々、社団法人神戸青年会議所（J.C.）の正副理事長と常任理事、つまり、今年の神戸経済界を担う「若き獅子」たちである。改めて指摘するまでもなく、今の日本の経済界は混迷を深めている。神戸もまた然り。経済の構造変革が大きくなうねりとなって押し寄せている。それだけに「神戸丸」の舵取りは難しい。

「われわれの足下をもう一度見直そう」と戸島理事長は呼び掛ける。「育もう豊かな個性、燃やそう培われた情熱！今、前進のために！」これが今年の基本テーマだ。

今年、神戸は開港120年を迎え、四月以降、多彩なイベントが組まれている。話題には事欠かない。無論、神戸J.C.も積極的に取り組む。現在、会員数は三二〇余名。

「輝くJ.C. 明るい希望」（「若い我等」の歌詞）― 結成30周年を来年に控え、今、神戸J.C.は翔く。

前列右から 尤 昭福（会員開発室長、84年度理事長） 大石伸雄（常務理事） 宇尾好博（副理事長） 広瀬 努（副理事長） 松田茂樹（専務理事） 戸島和博（理事長） 灰本靖彦（副理事長） 寺本 勤（副理事長） 星野忠兵衛（副理事長） 後列右から 岩本文夫（会員室長） 道滴雅彦（広報室長） 石橋恒生（総務室長） 西村 理（開港120年祭特別委員長） 御手洗博康（国際室長） 増田晴信（経済政策室長） 黄田漢洋（社会政策室長）の皆さん。 武部康文さん（社会室長）は、この日、欠席でした。

新しきクリエーター

美の小箱

津田仁子

文・伊藤 誠

〈姫路市立美術館副館長〉

兵庫県内の美術グループで、最も活発な一つが神戸二紀。そして、全般に増加してきてまずは結構な現象なのであろうが、特にここに多くなつたのが女流。数に比例して活動ぶりも目立ってきた。その代表選手が津田仁子。

神戸二紀、関西二紀、そして東京の本展、とそれぞれに佳品を出して所属団体内でも優等生だが、数年前からは安井賞へも招かれ、すでに今回で四度目という入選歴を持ち、他団体や批評家のうるさ方からも注目されてきた。一貫してモチーフは人形、その群像。マヌカンやら人形といった題材は、日曜画家からベテラン巨匠までが多く採り上げ、つまりは誠に普通的ではあるのだが、後者ともなればああこれは誰その作、とさすが微妙なニュアンスを的確ににじませ、その実恐ろしい素材でもある。津田仁子も今「自分の人形」を操るようになってきた。

黒っぽい空間がユニーク。そこに白い裸身をさらした人形が点々。剥き出しにされた人形は、可愛いらしげで、大胆で、柔らかさそうで、冷たげで、グロテスクであり、エロチック。さらにぎこちない動きの裸形の群れは、楽しそうで、気味悪く、にぎやかさそうで、沈黙で、華やかに見えて、安っぽい。だから、なかなか面白い。

言い古されたことながら、作品は画家の投影。これら人形の一人々々、一個々々は津田仁子の分身、仁子そのもの。常にきつく黒の衣裳をまとった作者は、その代替作用で人形をすべて真つ白な素裸にし、はてさてこの後どこへ行くのやら。ちよっぴり不安ながら、大いに楽しみ。



「おもちゃの国」1987年
津田 仁子



- 1974年 第28回二紀展初入選以後毎回出品
1976年 第25回全関西美術展にて開展賞第一席受賞
1977年 第3回"日仏現代美術"展にてフィガロ賞第一席、佳作賞受賞
1978年 第4回"日仏現代美術"展にて第二席、フランス・ソワール賞第二席受賞 第26回全関西美術展にて開展賞第二席受賞
1983年 第26回安井賞展入選
1984年 全関西美術展にて読売新聞本社賞受賞
1985年 第28回安井賞展入選
1986年 第29回安井賞展入選 二紀選抜展にて佳作賞受賞
1987年 第30回安井賞展入選



KOBE MONOGATARI

神戸の物語

緒方しげを NO. 15





装いの春。
身も心もかるやかに…。

 PREMIER & SUPPORT BY JAPAN PEARL
KINOSHITA
PEARL
CO.,LTD.

Order Salon

株式会社 木下真珠

〒650 神戸市中央区山本通1丁目7-7(北野坂)

TEL (078)221-3170

10:00AM~6:00PM (無休)

木下真珠では、カジュアルからフォーマルまで、この春の装いのための各種真珠・ジュエリーを取り揃えています。

●写真の商品は淡水真珠のネックレスとイヤリングです。

春風の中、私が光る
3月の毛皮



真珠・貴金属・毛皮・輸入婦人服

ムラタ

さんちかシティエレガンス/神戸市中央区三宮町1丁目10番1号 ☎(078)391-3886

本社/神戸市中央区元町通6丁目7番8号明邦ビル ☎(078)341-8041(代)

甲子園店/甲子園球場南・阪神パーク隣 ☎(0798)48-5218

大丸ANNEX LIVE LAB WEST

3月1日@オープン

昭和のはじめ、旧居留地に「ナショナル・シティ、バンク・オブ・ニュー・ヨーク」として建てられた現大丸別館。その別館に新しく、ライブラブがオープンしました。渋谷の1号店「ライブ・ラブ イースト」に続く2号店として、その名も「ライブ・ラブ ウェスト」と命名。古い洋館の大きな鉄の扉の中には、フランス生まれのアニエス・b。都市生活を快適にする家具中心のライブ ラボラトリー。素敵なおメニューをお届けするB・L・T。そのほかボイズキット、デュオ、アフタヌーンティーなど、衣、食、住のおしゃれのエッセンスが光っています。ここは、神戸で最も洗練されたファッションやインテリアがいきいきと脈打つところ、といえそうです。



電話(078)331-8121・10時～6時30分(水曜定休)



DAIMARU KOBE

電話(078)331-8121




3月5日⊕大丸は新しく生まれ変わります。

おとなの甘さ、
少女の背伸び、
ブラウスの不思議。

LEMONA
YUKIEY
Peture

●ブラウス●ブラウス・スーツ●ワンピース

株式会社 モードリント 埼玉県中央区旗塚通7-1-11 〒651 TEL.078-242-4141(代)

 modeLYNDA co.,ltd

Mar

ビデオアート／山口勝弘

これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の心の手帖です

3月号目次 ● 1987・No.311

表紙／小磯良平

セカンドカバー／中西勝

9 第16回フルメール賞受賞者／望月美佐、楠本高章・山

西史子・松原政祐・中西覚

15 ある集い／神戸青年会議所正副理事長・常任理事

16 美の小箱／③津田仁子／文・伊藤誠

18 神戸の物語／カメラ・緒方しげを

29 私の意見／松浦港湾局長

30 第16回フルメール賞発表

33 随想／直木太一郎・宮崎三千子・立岡佐智央

36 れんさい随想／田中千佳・カット／西村功

38 K o b e 音楽夜話／中村茂隆

40 出会の旅／角卓

42 珈琲飲みながら／岩崎宇紀

45 地域文化論／米花稜

46 創刊26周年記念企画インタビュー「21世紀の神戸を語る」

／中内功・陳舜臣・原清・柏井健一

54 キャンペーン座談会／「シヨッピングタウン」

64 経済ポケットジャーナル

72 プロフェッサーの研究室／岡田淳

74 話題のひろば／②風蘭芸術祭受賞パーティ③六甲アイランド

76 K O B E ファッションスポット

83 コウベスナップ／①南京街春節祭②小磯良平展

84 もうさんのHYOGO・WALK 22清荒神／大覚寺

88 ファッションウォッチング／加藤きよ子

117 コーヒーブレイク

118 動物園飼育日記 256／亀井一成

122 小山乃里子の華麗なる男のインタビュー／桂文珍

126 スポーツエッセイ／井上徳徳

128 神戸の集いから

132 有馬歳時記／シリーズ「私と温泉」②

134 K F S ニュース

138 神戸を福祉の町に／橋本明

140 K O B E M O D E R N C U L T U R E

142 シネマ試写室／淀川長治

144 神戸百店会より

147 びつとん

148 ボケットジャーナル

152 神戸・発見③／「水と神」のまち 福嶋敏雄

156 連載小説／田能千世子・カット／堀江優

180 K O B E ハイカラ文化史①／鈴木正幸・鈴木正幸

182 海・船・港／メリケンステージ神戸から発信

カメラ／米田定蔵・池田年夫・松原卓也・坂上正治

2月28日

三宮北野坂店

オープン!!

Tatoufo
ITALGELATERIA, JPN.CO., LTD.
Natural Italian Gourmet Ice Cream

今アメリカで大人気
タトウフォが神戸に
……初上陸……!!

イタリアン グルメ
アイスクリーム & コーヒー



3月12日 逆瀬川店オープン
阪急逆瀬川駅前

4月15日 池田店オープン
阪急池田駅前

感性のステージ、ファッションパーク。



新宿・高野
BONFUKAYA
ゲルラン
ココ山岡
VICKY
LEE SOPHY
ELLE
アベニュー22
ブライダルサロン・ルーブル
ダイアナ
サイズショップダイアナ
OFU
CLAUDE LEMA
ZAZIE
三愛

FASHION PARK

神戸・三宮さんプラザセンタープラザ 3F

営業時間 — A 11:00 — P. 8:00
PHONE — 078(332)1698



海への憧れは…少年の頃のま



本部 / 中央区三宮町1丁目6-22(ニューセンター7F) (078) 392-1651

三宮本店 / 三宮センター街 (078) 391-0895
 プレザージュショップ / トアロード (078) 391-0896
 ドルチェマック / 三宮センター街 (078) 332-0141

京都店 / 藤井大丸2F (075) 211-0857
 姫路店 / FESTA 2, 3F (0792) 89-4738
 宝塚店 / 宝塚南口サンビオラ3F (0797) 71-4830



MACオリジナル商品群

HOODED PARKA(6色) … ￥14,800
 WIND BREAKER(4色) … ￥12,800
 YACHT PARKA(7色) … ￥7,300
 TRAINER(7色) … ￥5,900